

静岡・街なかのセミ ぬけがら調べ2025 結果一覧

※過去の調査結果付き

- ◎暑い夏の盛り、私たちに最も身近な生きもののひとつが「セミ」です。セミには多くの種類がありますが、どんな場所にどのセミが主に育っているかは「ぬけがら」で簡単に調べることができます。場所ごとに、見つかるぬけがらを集めて、種類を見分けてみましょう。セミは幼虫時代をずっと地中ですごし、生まれ育った場所で羽化するため、ぬけがらを残したセミは間違いなく「そこで育っていた」と考えることができます。また、ぬけがらなら、どれだけ集めてもセミたちに迷惑がかかりません。種類の割合から、セミの分布のようすや環境のことを考えてみましょう。
- ◎2025年の夏、私たちが静岡の市街地で市民の皆さんと一緒に取り組んだ「ぬけがら調べ」の結果をまとめました。それぞれのデータは「おおまかなようす」ととらえるべきですが、毎年の結果から、次のようなことがわかってきました。
- ・静岡の街なかでは、アブラゼミとクマゼミが最も多く分布している
 - ・学校庭のように地面が乾きがちな所では、クマゼミが多くなる傾向がある
 - ・反対に、神社の境内や林のように日陰の多い所ではアブラゼミが多くなる
 - ・ニイニイゼミも、大木の多く茂った公園などには割合と数多くすんでいる …などです。
- ◎公園が大きく改修されて、樹木の数が減ったり地面のようすが変わった調査地では、それを境に見つかるぬけがらの数が大きく減ったり、種類の傾向が変わったりする結果が出ています。私たち人間の活動が、環境や生き物たちに与える影響についても考えてみましょう。

2025年・ぬけがらを調査した場所と 静岡市域 南西部の略図 (※印は昨年までのデータを掲載)



①アカデ美和

※安倍口団地中央公園
葵区 安倍口団地

(2025年は調査せず)

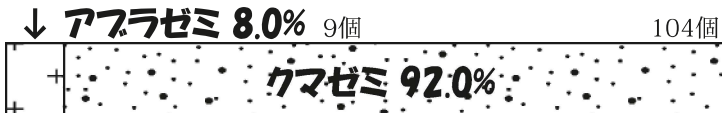
2024年 ⇒ クマ100.0% (8/6…31個)
2023年 ⇒ アブラ3.4%、クマ96.6% (8/4…29個)
2022年 ⇒ クマ98.1%、ニニ11.9% (8/5…53個)
2021年 ⇒ アブラ18.9%、クマ81.1% (8/5…37個)
2020年 ⇒ アブラ7.1%、クマ92.9% (8/5…84個)
2019年 ⇒ アブラ13.8%、クマ86.2% (8/8…109個)
2018年 ⇒ アブラ17.8%、クマ79.5%、ニニ2.7% (8/9…73個)
2017年 ⇒ アブラ11.0%、クマ89.0% (8/3…155個)
2016年 ⇒ アブラ32.7%、クマ66.8%、ニニ0.5% (8/4…214個)
2015年 ⇒ アブラ33.1%、クマ66.9% (8/6…357個)
2014年 ⇒ アブラ42.2%、クマ57.8% (8/7…251個)
2013年 ⇒ アブラ42.2%、クマ57.8% (8/8…339個)
2012年 ⇒ アブラ44.7%、クマ54.7% (8/9…307個/ツツク、ニニ各1個)

②小鹿児童遊園

駿河区 小鹿二丁目

(2025年は調査せず)

※(参考) 2025 年は暑さで実施できませんでしたが、小学生有志が自主的に調査を行ってくれました。



2024年 ⇒ アブラ8.4%、クマ91.6% (8/5…799個)
2023年 ⇒ アブラ9.7%、クマ90.3% (8/7…309個)
2022年 ⇒ アブラ9.6%、クマ90.4% (8/1…478個)
2021年 ⇒ アブラ7.1%、クマ92.9% (8/2…803個)
2020年 ⇒ アブラ13.4%、クマ86.3%、ニニ0.3% (8/4…313個)
2019年 ⇒ アブラ18.8%、クマ79.9%、ニニ1.3% (8/6…548個)
2018年 ⇒ アブラ11.9%、クマ87.6%、ニニ0.5% (8/3…429個)
2017年 ⇒ アブラ15.3%、クマ84.7% (8/7…294個)
2016年 ⇒ アブラ 22.9%、クマ 76.5%、ニニ 0.6% (8/8…620個)
2015年 ⇒ アブラ 18.1%、クマ 81.9% (8/3…712個)
2014年 ⇒ アブラ 16.5%、クマ 82.5%、ニニ 1.0% (8/4…514個)
2013年 ⇒ アブラ29.7%、クマ70.1%、ニニ0.2% (8/5…505個)
2012年 ⇒ アブラ21.6%、クマ78.1%、ニニ0.3% (8/8…958個)
2011年 ⇒ アブラ26.1%、クマ73.4%、ニニ0.5% (8/4…807個)
2010年 ⇒ アブラ25%、クマ74%、ニニ1% (8/19…292個)
2009年 ⇒ アブラ32%、クマ67%、ニニ1% (8/21…378個)
2008年 ⇒ アブラ19%、クマ81% (8/21…378個/ツツクボウ 幼少々)
2007年 ⇒ アブラ27%、クマ72%、ニニ1% (8/23…381個)
2006年 ⇒ アブラ22%、クマ78% (8/23…92個)

③熊野神社

葵区 安東一丁目

(2025年は調査せず)

2024年 ⇒ アブラ55.0%、クマ44.2%、ニニ0.5%、シミ0.3% (8/5…382個)
2023年 ⇒ アブラ59.6%、クマ39.9%、ニニ0.5% (8/7…188個)
2022年 ⇒ アブラ34.7%、クマ63.9%、ニニ1.4% (8/1…144個)
2021年 ⇒ アブラ43.8%、クマ55.8%、ニニ0.4% (8/2…233個)
2020年 ⇒ アブラ34.9%、クマ64.3%、ニニ0.8% (8/3…129個)
2019年 ⇒ アブラ80.6%、クマ19.4% (8/9…521個)
2018年 ⇒ アブラ76.7%、クマ23.3% (8/6…322個)
2017年 ⇒ アブラ30.4%、クマ69.6% (8/2…283個)
2010年 ⇒ アブラ74.5%、クマ25.5% (8/24…495個)

④城北公園

葵区 大岩本町

(7/31実施 / 採集364個)

※図書館側のエリアで実施



2024年 ⇒ アブラ50.1%、クマ42.0%、ニニ17.7%、ツツク0.2% (7/30…831個)
2023年 ⇒ アブラ53.7%、クマ28.8%、ニニ17.1%、ツツク0.4% (8/8…479個)
2022年 ⇒ アブラ71.5%、クマ22.5%、ニニ15.8%、ツツク0.2% (8/9…530個)
2021年 ⇒ アブラ74.6%、クマ18.1%、ニニ17.1%、ツツク0.2% (8/10…846個)

2014年 ⇒ アブラ80.9%、クマ16.0%、ニニ3.1% (8/19…319個)
2013年 ⇒ アブラ83.1%、クマ13.7%、ニニ3.2% (8/15…1,583個)
2012年 ⇒ アブラ75.7%、クマ11.5%、ニニ12.5%、ツツク0.3% (8/16…647個)

⑤常葉大学

葵区 瀬名一丁目
(2025年は調査せず)

2024年⇒アブラ80.4%、クマ18.9%、ニイ10.7% (8/1…143個)
 2023年⇒アブラ65.3%、クマ32.7%、ニイ12.0% (8/2…153個)
 2022年⇒アブラ83.5%、クマ16.2%、ニイ10.3% (8/3…291個)
 2021年⇒アブラ81.3%、クマ17.9%、ニイ10.4%、ツツク0.4% (8/4…487個)
 2020年⇒アブラ87.3%、クマ11.9%、ニイ10.8% (8/4…118個)
 2019年⇒アブラ71.4%、クマ24.7%、ニイ13.9% (8/2…206個)
 2018年⇒アブラ90.2%、クマ8.3%、ニイ1.5% (8/2…204個)
 2017年⇒アブラ79.3%、クマ20.2%、ニイ0.5% (8/4…564個)
 2016年⇒アブラ91.0%、クマ8.5%、ニイ0.5% (8/2…400個)
 2015年⇒アブラ65.4%、クマ34.5%、ツツク0.1% (8/7…750個)
 2014年⇒アブラ73.2%、クマ25.8%、ニイ1.0% (8/5…205個)
 2013年⇒アブラ83.2%、クマ16.4%、ニイ0.4% (8/7…446個)
 2012年⇒アブラ72.2%、クマ27.8% (8/17…79個)※駐車場側
 2011年⇒アブラ94.7%、クマ5.1% (8/10…432個/ニイ10.2%)
 2010年⇒アブラ65%、クマ35% (8/11…153個)※駐車場側
 2009年⇒アブラ95%、クマ5% (8/12…200個)
 2008年⇒アブラ71%、クマ28% (8/12…323個/ニイ、ツツク1%)
 2007年⇒アブラ89%、クマ10% (8/24…655個/ニイ、ツツク1%)

⑥登呂公園

駿河区 登呂五丁目
(2025年は調査せず)

2024年⇒アブラ74.2%、クマ25.2%、ニイ10.6% (8/6…151個)
 2023年⇒アブラ77.8%、クマ21.4%、ニイ10.8% (8/1…126個)
 2022年⇒アブラ41.1%、クマ57.5%、ニイ1.4% (8/2…141個)
 2021年⇒アブラ44.6%、クマ54.4%、ニイ1.0% (8/3…195個)
 2020年⇒アブラ36.9%、クマ60.9%、ニイ12.2% (8/6…92個)
 2019年⇒アブラ57.9%、クマ41.2%、ニイ0.9% (8/6…221個)
 2018年⇒アブラ80.4%、クマ18.6%、ニイ1.0% (8/7…102個)
 2017年⇒アブラ53.8%、クマ44.6%、ニイ1.6% (8/3…184個)
 2016年⇒アブラ65.4%、クマ34.6% (8/4…107個)
 2015年⇒アブラ77.4%、クマ19.4%、ニイ3.2% (8/6…124個)
 2014年⇒アブラ86.7%、クマ11.4%、ニイ1.9% (8/5…105個)
 ---- 2007年～2012年 公園内の大改修あり。採集場所を変更。----
 2009年⇒アブラ63%、クマ37% (8/17…339個)
 2008年⇒アブラ58%、クマ41%、ニイ1% (8/12…971個)
 2007年⇒アブラ44%、クマ55%、ニイ1% (8/9…526個)

⑦羽鳥公園

葵区 羽鳥五丁目
(8/8実施 /採集91個)

65個

クマゼミ 28.6% ↓ 26個



2024年⇒アブラ83.6%、クマ43.3% (8/2…134個)
 2023年⇒アブラ83.6%、クマ16.4% (8/3…128個)
 2022年⇒アブラ62.6%、クマ36.9% (8/2…187個)
 2021年⇒アブラ55.0%、クマ45.0% (8/3…160個)
 2020年⇒アブラ52.1%、クマ45.8%、ニイ12.1% (8/6…94個)
 2019年⇒アブラ69.1%、クマ24.0%、ニイ6.9% (8/7…204個)
 2018年⇒アブラ57.4%、クマ40.7%、ニイ1.9% (8/2…155個)
 2017年⇒アブラ64.7%、クマ33.3%、ニイ2.0% (7/31…153個)

⑧田町公園

葵区 田町三丁目
(8/7実施 /採集12個)



※2023年、2024年は調査せず
 2022年⇒アブラ28.6%、クマ71.4% (8/3…21個)
 2021年⇒アブラ24.0%、クマ76.0% (8/6…25個)
 2020年⇒アブラ33.3%、クマ66.7% (8/7…24個)
 2019年⇒アブラ35.4%、クマ64.6% (8/7…48個)
 2018年⇒アブラ12.5%、クマ87.5% (8/7…8個)
 2017年⇒アブラ22.2%、クマ77.8% (8/8…18個)
 2016年⇒アブラ59.0%、クマ41.0% (8/2…39個)
 2015年⇒アブラ66.7%、クマ33.3% (8/5…57個)
 2014年⇒アブラ46.7%、クマ53.3% (8/6…15個)
 2013年⇒アブラ62.1%、クマ37.9% (8/7…29個)
 2012年⇒アブラ51.2%、クマ48.8% (8/3…41個) ※園地の全面改修後

 2011年⇒アブラ50.0%、クマ49.5%、ニイ0.5% (8/5…200個)
 2010年⇒アブラ58%、クマ42% (8/13…277個)
 2009年⇒アブラ63%、クマ37% (8/17…167個)
 2008年⇒アブラ60%、クマ40% (8/19…361個)
 2007年⇒アブラ82%、クマ17%、ツツクウ等1% (8/21：309個)

⑨上川原神社

※宮西公園を含む
駿河区 上川原

(8/5実施 /採集46個)

39個

クマゼミ 15.2% ↓7個



2024年⇒アブラ65.9%、クマ34.1% (7/30…223個)
 2023年⇒アブラ78.5%、クマ21.5% (8/3…149個)
 2022年⇒アブラ73.0%、クマ27.0% (8/4…267個)
 2021年⇒アブラ71.1%、クマ26.5%、ニイ2.4% (7/31…83個)
 2020年⇒アブラ39.8%、クマ59.7%、ニイ0.5% (8/1…181個)
 2019年⇒アブラ39.0%、クマ59.4%、ニイ1.6% (7/31…128個)
 2018年⇒アブラ63.1%、クマ36.0%、ニイ0.9% (7/31…111個)
 2017年⇒アブラ67.1%、クマ32.5%、ニイ0.4% (8/5…243個)
 2016年 <実施せず>
 2015年⇒アブラ79.2%、クマ20.8% (8/26…53個)
 2014年⇒アブラ81.4%、クマ18.6% (8/27…145個)
 2013年⇒アブラ79.4%、クマ20.6% (8/16…247個)
 2012年⇒アブラ64.7%、クマ35.3% (8/16…139個)
 2011年⇒アブラ83.7%、クマ16.3% (8/17…135個)
 2010年⇒アブラ68%、クマ32% (8/11…130個)
 2009年⇒アブラ82%、クマ17% (9/2…92個/ニイ1%)
 2008年⇒アブラ89%、クマ11% (8/25…123個)
 2007年⇒アブラ91%、クマ8% (8/25…157個/ニイ1%)
 2006年⇒アブラ86%、クマ13% (8/26…140個/ニイ1%)

⑩竜南雨坪公園

葵区 竜南三丁目

(8/7実施 /採集85個)

37個

48個



2024年⇒アブラ39.6%、クマ60.4% (8/1…164個)
 2023年⇒アブラ44.0%、クマ56.0% (8/1…257個)
 2022年⇒アブラ46.0%、クマ53.6%、ニイ0.4% (8/5…248個)
 2021年⇒アブラ52.7%、クマ46.9%、ニイ0.4% (8/5…275個)
 2020年⇒アブラ43.3%、クマ56.7% (8/5…210個)
 2019年⇒アブラ63.7%、クマ36.1%、ニイ0.2% (8/9…510個)
 2018年⇒アブラ46.9%、クマ53.1% (8/8…224個)
 2017年⇒アブラ51.8%、クマ47.8%、ニイ0.4% (8/2…808個)
 2016年⇒アブラ55.1%、クマ44.4%、ニイ0.5% (8/3…432個)
 2015年⇒アブラ70.3%、クマ29.2%、ニイ0.5% (8/5…671個)
 2014年⇒アブラ47.8%、クマ51.6%、ニイ0.4%、ツツクホウシ3.7% (8/6…483個)

(参考)

中藁科小学校

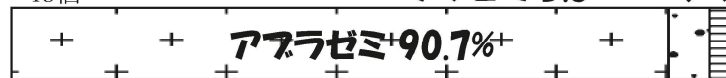
葵区 大原

(8/22実施 /採集54個)

※市街地から約10kmの
中山間地

49個

クマゼミ 5.6% 3個 ↓ ツツクホウシ



2024年⇒アブラ91.7%、クマ7.6%、ニイ0.7% (8/2…132個)
 2021年⇒アブラ88.3%、クマ10.6%、ニイ1.1% (8/10…94個)

◎山間では少なくなるクマゼミが、どのあたりまで分布しているか調べるため、中山間地の小学校で調査しています。中山間地でも、校庭の乾いた環境にはクマゼミが少し混じってきます。さらに上流の学校庭ではどうでしょうか。また、割合はこれから変化していくのでしょうか？